

【2級・解説】

リスニング

PARTE II (N 5 – N 8)

N 5 c

【正答率】60.2%

M: Apri quell'ombrellone, dai, che mi sto ustionando!

F: Non ti va proprio di prendere un po' di tintarella, eh?

M: Mi va anche, ma senza soffrire.

F: Perché non vai a farti un tuffo, così ti rinfreschi, no?

M: Sì, brava, e come ci arrivo fino all'acqua? La sabbia scotta troppo. Per adesso me ne sto un po' qui all'ombra, poi magari...

DOMANDA: Dove si trovano?

- a) Per strada durante un temporale
- b) In cucina davanti ai fornelli
- c) Al mare in un giorno d'estate

【訳】(男)そのビーチパラソルを広げてよ、早く、僕は火やけどしそうだ！(女)あなたって軽く日焼けするのも、本当に嫌なのね？(男)してもいいさ、痛くないなら。(女)一度水に飛び込んできたらどう？ そうしたら、涼しくなるんじゃない？(男)ああ、ご名案だね、で僕は、水際までどうやって行くわけ？ 砂はあまりにも熱すぎるよ。とりあえず僕はここの日陰でしばらくじっとしているよ、何ならその後で……。

(問)彼らはどこにいますか？

- a) 嵐の最中、路上に
- b) キッチンのコンロの前に
- c) 夏のある一日、海辺に

N 6 c

【正答率】57.7%

M: Allora? Che ne dici? È di tuo gusto?

F: Però! Bravo! L'hai fatta proprio buona!

M: Sono contento che ti piaccia. Ho seguito la ricetta di tua madre.

F: Sì, infatti è proprio come la fa lei, con le albicocche a pezzetti, la vanillina... Magari, ecco... la sua è un po' meno dolce...

M: Eh, sì, per sicurezza ci ho messo un po' più di zucchero.

F: Si sente. Però dai, per essere la prima volta che la fai... Quanti vasetti hai fatto?

M: Cinque. Uno pensavo di darlo ai tuoi genitori, per fargliela assaggiare.

F: Certo. Gli farà piacere.

DOMANDA: Che cosa ha preparato?

- a) Un dolce
- b) Dei pasticcini
- c) Una marmellata

【訳】(男)それで? どう? 君の好みに合う?(女)あら! 上手よ! それを本当においしく作ったわね!(男)君の好みに合って嬉しいよ。君のお母さんのレシピに従ったんだ。(女)ええ、本当に母が作るのみたいだわ、刻んだアプリコットやバニラエッセンス入りで……。もしかすると、そうね……。彼女のはもう少し甘さが控えめだけど……。 (男)うん、そう、念のために少し多めに砂糖を入れたんだ。(女)食べたら分かるわ。でもいいわよ、あなたがこれを作ったのが初めてにしては……。何びん作ったの?(男)5つ。1つは君のご両親に差し上げようと思ったんだけど、それを味見してもらうために。(女)もちろんよね。彼らは喜ぶでしょう。

(問)男性は何を作ったのですか?

- a) お菓子
- b) プチフル
- c) ジャム

N 7 b

【正答率】65.9%

M: Con oltre 200mila copie vendute e il secondo posto ormai da più di dieci settimane nella classifica dei più letti, la sua opera prima sta ottenendo un vero successo. E si parla già di una sua candidatura al prossimo premio Strega.

DOMANDA: Di chi si parla?

- a) Di un'attrice o di un attore
- b) Di una scrittrice o di uno scrittore
- c) Di una cantante o di un cantante

【訳】(男)20万部以上を売り上げ、最もよく読まれた本のランキングですでに10週間以上前から第2位ということで、彼[彼女]の処女作は、真の成功を収めつつあります。また次回のストレーガ賞候補入りもすでに噂されています。

(問)誰が話題になっていますか?

- a) ある女優もしくは男優
- b) ある女性もしくは男性の作家

c) ある女性もしくは男性の歌手

N 8 a

【正答率】63.4%

M: Una di queste domeniche dovremmo invitare a pranzo zia Matilde. È tanto che non la vediamo.

F: Io l'ho invitata qualche volta, è lei che trova sempre qualche scusa per non venire.

M: Lo sai, è anziana, si sposta da casa malvolentieri... Ma se insistiamo...

F: Perché non vai a trovarla tu?

M: Mi piacerebbe che vedesse anche te, i bambini...

F: Non è colpa mia se Carletto è allergico al pelo dei gatti. Lei in casa ne ha tre!

M: Appunto, dico io, invitiamola qui. Se le dici che prepari la tua favolosa torta di mele, secondo me si lascia convincere. Lo sai come ne è golosa.

F: D'accordo.

DOMANDA: Cosa non piace a zia Matilde?

- a) Uscire di casa
- b) Vedere i bambini
- c) La torta di mele

【訳】(男)僕たち、そのうちいつかの日曜日にマティルデおばさんを昼食に招待すべきじゃないかな。僕たちはずいぶん彼女に会っていない。(女)私は彼女を何度か招いたわ。彼女の方がいつも何かしら来ない口実を見つけるのよ。(男)ほら、彼女は高齢で、家から動きたがらないんだ……。でも僕たちが粘れば……。(女)あなたが彼女に会いに行ったらどう？(男)僕は彼女に君や子供たちにも会ってほしいんだ……。(女)カルレットが猫の毛アレルギーなのは私のせいじゃないわよ。彼女は家で3匹飼ってるじゃない！(男)だからこそ、こっちに彼女を招待しようって言っているんだよ。もし君が、君のみごとなリンゴのケーキを作らって彼女に言えば、僕の見るところ、彼女は説得されるよ。彼女はあれに目がないんだから。(女)分かったわ。

(問)マティルデおばさんが嫌いなのは何ですか？

- a) 外出すること
- b) 子供たちに会うこと
- c) リンゴのケーキ

PARTE III (N 9 – N 12)

N 9 c

【正答率】95.9%

F1: A proposito, come vanno le lezioni online?

F2: Meglio di come pensavo. Ora che ci ho preso la mano... Effettivamente si possono fare tante cose. E poi gli studenti si danno da fare, partecipano... L'unico problema...

F1: Problemi di connessione?

F2: No, grazie a Dio non ne ho. No, è che proprio nell'appartamento accanto al mio in questi giorni, sai, stanno ristrutturando, fanno dei lavori, e già dalla mattina fanno un baccano davvero infernale, e quello... quello sì, durante la lezione disturba parecchio.

DOMANDA: Qual è l'unico problema?

【訳】(女1)それで、オンライン授業は、どんな調子？(女2)私が思っていたよりいいわ。コツをつかんだ今ではね……。実際、いろいろなことができるの。それに生徒たちも努力するし、参加するし……。唯一の問題は……。(女1)接続の問題？(女2)いいえ、ありがたいことに、それはないわ。違うの、それが、ちょうどうちのマンションの隣の部屋でここ数日改装をしていて、工事をしているよの、それで朝のうちから本当にひどい騒音をたてるの。あれは……あれはそうね、授業の間は、かなり邪魔になるわ。

(問)何が唯一の問題ですか？

- a) 生徒が多すぎる b) 接続がよくない c) 騒音が授業の邪魔になる

N 10 c

【正答率】71.5%

F: Guarda che ore sono e Sergio non ha ancora chiamato... A quest'ora dovrebbe essere già arrivato a casa. Quando è uscito da qui erano le undici... Gli sarà successo qualcosa?

M: Ma no, dai, cosa vai a pensare...

F: E allora perché non chiama? Mi aveva promesso di farlo appena arrivava...

M: Sai come è Sergio, avrà pensato che era troppo tardi per chiamare, avrà avuto paura di svegliarci...

F: E invece così mi fa stare in pensiero!

DOMANDA: Perché lei è preoccupata?

【訳】(女) ねえ、こんな時間なのに、セルジョはまだ電話してきていないのよ……。この時刻にはもう家に着いているはずなのに。彼がここを出た時は11時だった……。彼に何かあったのかしら？(男) まさか、そんな、また何を思いつくんだい……。 (女) だったらなぜ電話してこないの？ 着いたらすぐそうするって私に約束したのに……。 (男) セルジョがどんなだかは君も知っているだろう、電話するには時間が遅すぎると、僕たちを起こしてしまうんじゃないかと思ったんだろうよ……。 (女) でもかえって、これじゃ私を心配にさせるわ！

(問) なぜ彼女は心配しているのですか？

- a) 長い間セルジョを見かけないから
- b) セルジョがまだ彼らの家に到着していないから
- c) セルジョがまだ彼女に電話してこないから

PARTE V (N 17 – N 22)

Secondo ascolto (N 20 – N 22)

F: Un po' dovunque i provvedimenti di lockdown dovuti all'emergenza Coronavirus hanno mostrato come effetto secondario la tendenza delle più svariate specie animali a riprendersi degli spazi lasciati provvisoriamente liberi dall'uomo. Lo si è visto in numerosi casi anche nel nostro Paese. Si pensi a Venezia, dove le acque dei canali, tornate limpide dopo tanto tempo, hanno reso visibili i loro fondali e le creature che li popolano, e dove il video amatoriale di un polpo gigante che si aggira indisturbato nel Canal Grande ha fatto scalpore e il giro del web. Per non parlare delle apparizioni inusuali di animali in città, verificatesi un po' in tutta Italia. Daini, cervi, cinghiali che trotterellano indisturbati per le vie di cittadine apparentemente deserte, famigliole di conigli selvatici che fanno capolino nei parchi di Milano, per non parlare di una stupenda aquila reale che si è avventurata a solcare i cieli di quella metropoli.

【訳】(女)コロナウイルスによる非常事態の要請によるロックダウンの措置は各地で、その副作用として、人間が一時的に明け渡した空間を多種多様の動物が取り戻すという傾向を示しました。わが国でもその多くの例が目撃されています。そのよい例がヴェネツィアで、ここでは徐々に透明に戻った運河の水が、その水深とそこに棲む生き物たちを見せるようになりましたし、大運河の中を誰に邪魔されることもなく動き回る巨大なタコの、愛好家による動画が大きな反響を呼び、ウェブ上をかけめぐりました。イタリアのほぼ全土で確認された、都会での動物の時ならぬ出現はいうまでもありません。一見人気のない街路を誰に邪魔されることもなく駆け回るダマジカ、シカ、イノシシ、ミラーノの公園で顔をのぞかせる野生のウサギの家族、それに果敢にもあの大都会の空を滑空しにやってきた華麗なイヌワシ。

N 20 b

【正答率】30.9%

【訳】イタリアの各都市における野生動物の存在は、一部の人たちからコロナウイルスの蔓延の一因とみなされている

N 21 a

【正答率】81.3%

【訳】ヴェネツィアの大運河では、巨大なタコが目撃され撮影された

N 22 b

【正答率】61.0%

【訳】ミラーノのあちこちの屋根の上でワシがまた巣を作るようになった

PARTE I (N 23 – N 43)

N 28/29

【訳】私がイタリア語を話していて間違えたら、どうか、それを私に知らせて。

N 28 d

【正答率】66.7%

【解説】sbagli「誤り、間違い」は、s + 子音で始まる男性複数の名詞ですから、a) i と c) dei は不適切です。文脈から特定の誤りではなく「何か間違いがあれば」と言っているのがわかりますから、ここでは、漠然とした数量を表す部分冠詞を入れるのが適切です。したがって、d) degli が正解です。

N 29 d

【正答率】88.6%

【解説】「～させる」を意味する使役の構文 (fare + 動詞の不定詞) で、他動詞 notare「(～に) 気づく」が使われています。不定詞が他動詞のとき、間接補語は不定詞の主語を、直接補語はそのまま直接補語を表すこととなります。ここでは fare を tu に対する命令法に活用させ、間接補語人称代名詞 mi と男性複数の名詞 sbagli を受ける直接補語人称代名詞 li を付けて、「それらを私に知らせてください」という意味になるようにすれば、文脈に合います。tu に対する命令法の場合、補語人称代名詞は活用した動詞の末尾に付けます。主語の tu に合わせた動詞 fa' の末尾に、間接補語の mi と直接補語の li を付けると、fammeli となるので、d) が正解です。

N 30/31

【訳】この本は、フランカが私に貸してくれました。彼女に返さなければいけません。

N 30 c

【正答率】58.5%

【解説】文脈から、この文の動詞 ha prestato の主語は Franca で、questo libro「この本」は直接補語にあたる考えられます。本来は動詞の後に置かれるべき直接補語が動詞の前に置かれるときは、これを補語人称代名詞に置き換え動詞の前につける必要があります。男性単数の libro を受ける直接補語人称代名詞は lo で、ha の前では省略されて l' となります。また、Franca が「私に」本を貸しているとするのが文脈に合うので、間接補語人称代名詞 mi と l' を組み合わせて、me l'ha prestato となる c) が正解です。

N 31 d

【正答率】69.1%

【解説】「～を返す」という意味の他動詞として *restituire* を使うとき、直接補語は省略されません。ここでは男性単数の名詞 *libro* を受ける *lo* が必要です。また、本を返す相手はフランカですから、間接補語人称代名詞は「彼女に」を表す *le* となります。ところで、*dovere* などの補助動詞に、動詞の不定詞を付けて使うとき、補語人称代名詞の位置は、補助動詞の前、または不定詞の末尾のいずれかになります。したがって、*restituire* の不定詞の末尾に *le* と *lo* の結合形である *glielo* がついた **d)** が正解です。なお、非強勢形の補語人称代名詞を同時に複数用いるとき、**a)** のように補助動詞の前と不定詞の末尾の両方に分けて置くことはできません。

N 32/33

【訳】この前の金曜日はおばあちゃんの誕生日だったんだよ。お祝いのためにせめて彼女に電話するくらいで来たと思わない？ それなのに、君はいつものとおりに忘れてしまったんだ！

N 32 d

【正答率】87.8%

【解説】「君」は電話をかけるべきだったのに、実際にはそうしなかったという文脈です。過去において実現する可能性はあったものの、実際には実現しなかった事柄を表すのは条件法過去です。**d) Avresti potuto** が正解です。

N 33 c

【正答率】78.0%

【解説】「～を忘れる」は再帰動詞 *dimenticarsi* に忘れる内容を示す〈*di* + ～〉を加えて〈*dimenticarsi di* + ～〉と表現します。そして、その〈*di* + ～〉の部分は代名小詞 *ne* で置き換えられます。また、再帰動詞は、近過去などの複合時制を作るとき、助動詞として *essere* を使います。したがって、**te ne sei dimenticato** となる **c)** が正解です。

PARTE II (N 44 – N 52)

N 44 b

【正答率】53.7%

【訳】「リーギ先生は本当にそんなにお金持ちなの？」「もちろん！ 大金持ちだよ！」「解説】sfondato は「底なしの」という意味の形容詞であり、これを ricco と組み合わせた〈ricco sfondato〉は、「大金持ちの」という意味を表します。返事の altroché は強い肯定を意味しますので、「大金持ち」は文脈に合います。したがって、b)が正解です。

N 45 b

【正答率】17.9%

【訳】「どうしてカルロはあんなに悲しそうで意気消沈しているの？」「なんだって？ 知らないの？ 恋人に捨てられたんだよ」【解説】「植える、打ち込む」といった意味の動詞 piantare には、「人(夫、妻、恋人)を捨てる」という意味もあり、「彼の恋人が彼を捨てた」とすれば文脈に合うので、b)が正解です。

N 46/47

【訳】2 歳のダルメシアンが迷子になりました。その犬を見つけるのに有益な情報を提供する人は誰でもお礼の報酬を受け取れます。

N 46 d

【正答率】62.6%

【解説】選択肢はいずれも他動詞の過去分詞の形で、もとの動詞 a)は smacchiare「しみを取る」、b)は smaltare「エナメル[ほうろう]を塗る」、c) smaltire「消化する；売り尽くす」、d) smarrire「なくす、見失う」です。主語は犬で、「見失われた、迷子になった」とすれば文脈に合いますから、d)が正解です。

N 47 c

【正答率】63.4%

【解説】選択肢のうち、c)のみが不定関係代名詞としても使われます。関係代名詞 chi のように先行詞を含み、「～する人は誰でも」を意味する不定関係代名詞 chiunque であれば、後に出てくる動詞 riceverà の主語になることができ、文脈にも合うので、c)が正解です。

【訳】今日午後半ばの時点で、ツイートはすでに 5000 を超え、この企業の Youtube のチャンネルへのコメントは 1000 ほどに上ります。ハッシュタグ #Lavazza はツイッターのトレンドトピック第 1 位となり、このイタリアの有名コーヒーブランドは『グッド・モーニング・ヒューマニティ(こんにちは、人類)』と題する新しい宣伝キャンペーンをめぐって、ソーシャルメディアの俎上に上がっています。アルマンド・テストの、こちらにも有名な代理店が手がけたキャンペーンですが、数日前から放映されているその新しいCMは、手放しの賞賛に、しかしまた猛烈な批判と論争にも迎えられました。

胸を打つ映像やスティーブ・マッカー、デニス・ストック、ジェローム・セッシーニなどの写真家の美しい写真が画面を流れ、連帯・愛・平等を呼びかける一方、その BGM として、まさに今年この世を去った偉大な音楽家エーツィオ・パッソの悲愴な旋律を我々が耳にする中、映画『独裁者』で巨匠チャーリー・チャップリンが遠く 1940 年に発したあの名高い「人類への演説」の台詞が力強く明瞭に響きます。それらの台詞はイタリア語でも字幕スーパーで読むことができます。純な情動の 60 秒間、はらわたを直撃し心を熱くする文章。

「我々人類は皆いつも助け合うべきではないだろうか。互いに憎み合ったり軽蔑し合ったりせず、隣人の幸福をのみ喜ぶべきではないだろうか。この世界には皆の居場所がある。自然は豊かだ。我々皆の分がある。諸君の心の中には人類への愛がある。諸君にはこの生を自由に輝かしいものにし、素晴らしい冒険に変える力がある。闘おう、新しい世界のために。皆に仕事を与える、公正な世界のために。若者には未来を、高齢者には安心を。境界や障壁を一掃し、貪欲、憎悪、不寛容を一掃し、世界を解放するために闘おう。理性ある世界、科学と進歩が万人に福祉をもたらす世界をめざして闘おう。皆で団結しよう！」

政治色に染まりすぎたメッセージだという人もあれば、「馬鹿馬鹿しく、美辞麗句で、慈善家ぶっている」とする人もいます。チャーリー・チャップリンその人を、物議をかもし人物だとして非難する人さえいます。

「天国の聖ペテロの無言劇を続けたほうがよかったのでは？」とある投稿は述べ、雲間を舞台に天使たちや聖人たちが立ち交る、皮肉の効いた歴史的 CM に言及しています。10 年以上にわたって同社の特色となってきた CM です。ところが新しい CM への助け船がこのほど、まさにその歴史的キャンペーンの作者の一人、ニコラ・ブルニアルトリから出されました。「新しい CM は素晴らしいと思う」と彼はツイッター上で書き込みました。「信じられないのは、チャップリンの演説が 1940 年のもので、80 年を経た今日でもなお、あれらの台詞はけしからんと思う人がいることだ」。

多くの人は彼と意見を同じくし、このコーヒーブランドの選択と、同社がこの新しいキャンペーンで打ち出そうとしている「再発見された人類愛」というメッセージを支持しています。

(www.ildubbio.news 2020年5月7日付記事「ラヴァッツァ社、チャップリンを引用」および sintony.it/news 2020年5月12日付記事「ラヴァッツァの新CM、心と情動を直撃」を大幅に改稿)

N 53 a 【正答率】82.9%

【訳】「ラヴァッツァ」社は新しい宣伝キャンペーンを打ち出した

N 54 b 【正答率】75.6%

【訳】新しいCMは皆から酷評された

N 55 a 【正答率】49.6%

【訳】このCMは1分そこそこの長さだ

PARTE IV

【訳】私たちがようやくまた安心して移動できるようになったら、あなたがしてみたいと思う外国旅行について、私たちに語ってください。(150 語から 180 語)

【模範解答例】Mi piacerebbe fare un viaggio in Italia. Io, quando ero piccola, sono cresciuta lì. Ho abitato a Bologna e a Torino. Frequentavo la scuola internazionale e studiavo l'inglese, ma per strada sentivo sempre parlare italiano. Andando al supermercato o camminando in centro ascoltavo i ragazzini, ma anche gli anziani, che parlavano l'italiano molto velocemente. Anch'io avrei voluto prendere parte a quelle conversazioni, ma per me in quel momento era troppo difficile. Dopo che sono tornata in Giappone, ho dovuto impegnarmi nello studio del giapponese. I miei compagni di classe potevano leggere e scrivere meglio di me. Quindi non sono riuscita a continuare a studiare l'italiano. Adesso lo sto studiando di nuovo e vorrei andare presto in Italia per incontrare i miei amici che ancora vivono lì. Vorrei sentire dalla loro viva voce come stanno. Certo, in questi giorni possiamo comunicare con Internet, ma quando nel mondo sarà finalmente tornata la serenità, vorrei tornare in Italia il più presto possibile, perché mi mancano tutti i miei amici. (170 parole)

【訳】私はイタリアに旅行してみたいです。私は幼い頃そこで育ちました。ボローニャとトリノに住みました。インターナショナルスクールに通って英語を学んでいましたが、路上ではいつもイタリア語が話されるのを耳にしていました。スーパーに行った時や中心街を歩いていた時はイタリア語をとて早口に話している若い子たちに、またお年寄りにも、耳をすませていたものです。私もできればそうした会話に加わりたかったのですが、当時の私にとってそれはあまりに難しすぎました。日本に戻ってからは私は日本語の学習に励まなければなりません。私の同級生たちは私より読み書きが上手にできたのです。そのため、私はイタリア語を学び続けることができませんでした。今ではまた勉強を再開しており、今でもなおあちらに住んでいる友人たちに会いに、近々イタリアに行きたいものだと思っています。私は彼らの口から直に彼らがどんな調子かを聞いてみたいのです。もちろん今日ではインターネットでやりとりできるわけですが、世界にまたようやく平穏が戻ってきたら、私はできるだけ早くイタリアに戻りたいと思います。私は友人たち皆に会えなくて寂しいのですから。(170 語)